

新潟空港の路線ネットワーク戦略 2017 の概要

1 位置づけ

新潟空港の路線ネットワーク充実と空港の利便性向上を目指す上で、県と関係者が目標、方針等を共有し、関係者一丸となった取組を行うための行動指針

2 内容

○ 新潟空港をとりまく現状と課題

○ 目標

利便性が高く使いやすい空港づくりを推進し、新潟空港の更なる拠点性向上を図るため、路線ネットワークの拡充を目指す

〔 利用者数 : [H28] 99 万人→ [H32] 135 万人 (国内 110 万人、国際 25 万人) 〕
〔 航空便数 : [H28] 171 便/週→ [H32] 210 便/週 (国内 189 便、国際 21 便) 〕

○ 5つの戦略

① 北東アジアに対する日本海側の航空路の表玄関としての地位の確立

- ・ ハルビン線 (週 2^{*}→4)、極東ロシア線 (11 便→24 便、夏季チャーター)
- ・ 北京線、大連線の誘致

北東アジア地域に対して地理的・時間的優位性があること等を踏まえ、ビジネスや観光の拠点として発展させ、日本海側の表玄関としての確固たる地位を確立する。

② 訪日外国人旅行者の増加が見込まれる地域への路線の拡充

- ・ 台北線 (週 2^{*}→4)
- ・ 香港線、高雄線、東南アジア方面からの路線・チャーター便の誘致

イン・アウト双方の需要が見込める新規路線の開設に取り組む。

③ 国内外の主要地域 (都市) との同日到着を実現するための路線の充実

- ・ ソウル線 (週 4^{*}→7)、上海線 (週 2^{*}→4)、成田線 (機材の大型化等)
- ・ 佐渡-新潟線の確保

ネットワークをさらに充実させ、利用者の一層の利便向上を図る。

④ 国内線利用者拡大による本州日本海側の基幹空港化の推進

- ・ 既存路線の需要拡大
- ・ ビジネス利用圏域の拡大、訪日外国人旅行者による国内線利用の拡大

本州日本海側随一の国内線ネットワークを有する強みを活かす。

⑤ 新たな利用者層獲得につながる LCC 路線の誘致と利用促進

- ・ 関西国際空港線利用促進、イン、アウト双方の需要が見込まれる路線誘致

従来航空機を利用しなかった層など新たな利用者獲得に向け誘致を進める。

○ 戦略具現化に向けた取組の方向性

(既存路線の充実、新規の国際路線の誘致、LCC 路線の誘致と利用促進)

○ 利用者拡大・路線充実に向けた取組

(戦略的なエアポートセールスの実施、空港アクセスの改善、コンセッションの導入検討、ビジネスジェットの受入れ推進、利便性が高く魅力ある空港の実現、アウトバウンド需要の掘り起こし、空港周辺への産業誘致)

※ H29.12 現在の便数